

KSKQ

エヌピーオー NPOちゅうぶ 通信

2024年11月号



By.Ayu

旧優生保護法・補償法が成立
旧優生保護法補償法制定に際しての声明
補償金等の支給に関する法律（概要）
地域移行、インクルーシブ教育実現に向け
大阪メトロ、インター・ホン検討
11月10日から近鉄無人化拡大の計画
危険な歩道の段差 京田辺市調査
なんばおにごっこ 7

高次脳機能障害学習会を開催しました
アクセス関西ネットワーク集会
OSAKA METROCK2024
木戸通雄の部屋 梅田 KITEEに行く
マノスタ@ミュシャ館・大鳥大社
協力会費 カンパ
編集後記

旧優生保護法 補償法案が成立 不妊手術強制

の被害者に1500万円

2024年10月8日 21時24分

国会

旧優生保護法をめぐり、不妊手術を強制された被害者本人らに新たな補償を行うための法案は、8日の参議院本会議で全会一致で可決・成立しました。

法案は超党派の議員連盟がまとめたもので

▽不妊手術を強制された被害者本人に1500万円

▽配偶者に500万円

▽中絶手術を受けさせられた人に一時金の名目で200万円

を支給するなど、新たな補償を行うことが盛り込まれています。

法案は8日午後の参議院本会議で採決され、全会一致で可決・成立しました。

また、本会議では7日の衆議院本会議に続いて、決議案が全会一致で議決されました。

この中では「優生思想に基づく誤った施策を推進させたことについて、悔悟と反省の念を込めて深刻にその責任を認めるとともに、心から深く謝罪する。被害の回復を図るための立法措置を速やかに講じる」などとしています。

石破首相「偏見や差別、優生思想の根絶に取り組む」

NHK



い、当事者から意見を聞きながら障害者に対する偏見や差別、優生思想の根絶に向け、一丸となつて取り組む」と述べました。



旧優生保護法をめぐり、不妊手術を強制された被害者やその配偶者に新たな補償を行うための法案が成立したことを受け、当事者や弁護士が会見を開きました。

げんこく だんせい

原告の男性「すべての被害者を救済してほしい」

げんこく くに ぱいじょう もと さいこうさいばんしょ しょうそ きたさぶろう かめい くる つづ
原告として国に賠償を求め、最高裁判所で勝訴した北三郎さん(仮名)は「苦しみ続け、つらい



じんせい ひがいしゃ わたし じんせい かえ あやま
人生でした。被害者は私1人ではない。謝ってもら
っても、私たちの人生は返ってきません。声を上げ
ることができなかつた人や手術のことを今も知らない
ひと ひと ひと ひと
ひとなど、すべての被害者を救済してほしい。きょうで
ほうりつ こえ だ ひと ひと
きた法律を、声を出せない人たちにしっかりと届けて
ください。自分のことを自分で決められる社会につな
じぶん じぶん きやかい
がることを心から願っています」と話していました。

べんごだん ぜんたい ひがいきゅうさい

弁護団「全体の被害救済のための第一歩」



だいいっぽ

べんごだん きょうどうだいひょう つと しんざとこう じ べんごし おお
弁護団で共同代表を務める新里宏二弁護士は「大
きな闘いの一区切りだと思う。これからが全体の
ひがいきゅうさい だいいっぽ きゅうゆうせい ほ こ ほ
被害救済のための第一歩だ。旧優生保護法ができ
てから76年がたつ。最高裁判所の判決がなければ
ほしょう しきく つく せいじ ひくこん
補償の仕組みが作れなかつたのは政治の貧困であ
り、日本の人権状況の問題点を考えざるを得ない。
ふたど お
二度とこのようなことが起らぬいためにも、これま
でのことについて第三者にきつちりと検証してもらう必要がある」と話しました。

みはら せいさくしょう ひつよう じゅんび
三原こども政策相「必要な準備をしつかり進めていく」

この法案を所管する三原こども政策担当大臣は8日午前、記者団に対し「成立した際には制定



すす

の経緯や趣旨を十分に踏まえ、すべての被害者

に補償が確実に届けられるよう、具体的な施策
をしつかり検討していく」と述べました。

その上で「法律の公布後3か月を経過した施行
日から請求できるよう必要な準備をしつかり進
めていく。相談窓口の整備などに全力を尽していく」と述べ、政府として補償が着実に進むよう
万全を期す考えを示しました。

たちはなかんばうふくちょうかん ほ しょうきん

橋官房副長官「補償金などの支給を着実に行つていきたい」

たちはなかんばうふくちょうかん ご ご きしやかいけん せいふ
橋官房副長官は午後の記者会見で「政府としては制定に至った経緯や趣旨も十分に踏まえ補
償金などの支給を着実に行つていきたい。また、施行日から請求できるよう広報・周知を行うと
もに、相談窓口の整備など必要な準備をしつかりと進めていく」と述べました。

しきゅう ちゃくじつ おこな

優生保護法補償法制定に際しての共同声明

2024年10月8日、「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等に関する法律」(以下、補償法)が成立しました。これに先立ち、「旧優生保護法に基づく優生手術等の被害者に対する謝罪とその被害の回復に関する決議」(以下、国会決議)が、両院本会議で採択されました。

補償法は、2024年7月3日、最高裁判所大法廷で、優生保護法が違憲であり、国会議員の立法行為が違法と判断したことを受けた結果として制定されました。法の前文において、国の責任と謝罪を明確にしています。そして、強制不妊手術被害者及び配偶者だけでなく、人工妊娠中絶も被害の対象として国が責任を認められました。

裁判の原告の6人が、最高裁大法廷の勝訴判決を見ることなく、国からの謝罪を受けることなく亡くなっています。被害者の多くは高齢です。ようやく制定された補償法による被害者の尊厳の回復は、一刻の猶予も許されません。国は、9月30日に締結した基本合意書に基づき、そして今般成立した補償法に基づき、早急に全ての被害者に対して補償の実現を図るべきです。

また、国会決議においても、優生思想に基づく誤った施策を推進させたことの責任を認め、謝罪をしました。そして、優生思想に基づく差別の根絶と、すべての個人が疾病や障害の有無によって分け隔てされることのない社会の実現を決意しました。

国会決議と補償法に基づき、二度と同じ過ちを起こさないための調査・検証の実施や再発防止策の追求がなされ、基本合意書において約束された私たちとの継続的・定期的な協議において、それらの進捗状況を点検したいと思います。基本合意書を締結した9月30日は「優生思想をのりこえて、生きるに値する人とそうではない人という分断、差別を無くす出発の日」でしたが、本日の補償法の成立により、それを実現するための第一歩を刻むことができました。

国は、被害について今なお声を上げられない被害者の方が、私たちや都道府県の相談窓口に相談できるよう、今般採択・成立した国会決議と補償法を広く社会に周知・広報してください。あわせて、優生保護法の歴史や被害の実態について、学校教育などを含めより多くの市民に知らせる機会をもつべきです。

私たちは、これからも市民のみなさんと手を携え、一刻も早い優生保護法問題の全面解決を実現し、優生思想に基づく差別や偏見の根絶を図り、すべての人が尊重される社会をめざします。

2024年10月8日

全国優生保護法被害原告団

全国優生保護法被害弁護団

優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会

旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等に関する法律案（概要）

背景・趣旨

○昭和23年に議員立法により成立した優生保護法※に基づき、平成8年までに約2万5千件の優生手術を実施

※優生上の見地から不良な子孫の出生を防止すること等を目的として、遺伝性疾患等を理由とした強制的な不妊手術である優生手術の実施等について規定

○平成30年以降、旧優生保護法に基づく優生手術に関する訴訟が各地で提起されたこと等を背景に、平成31年に議員立法により「一時金支給法」※を制定

※一時金支給法：優生手術等を受けた本人を慰謝するため一時金320万円を支給
　　国との損害賠償責任を前提とはしていない

○令和6年7月3日 最高裁判所大法廷判決

◆旧優生保護法の優生手術に関する規定は、**憲法13条**（自己の意思に反して身体への侵襲を受けない自由を保障）及び**14条1項**（法の下の平等）に違反

◆旧優生保護法の優生手術に関する規定に係る**国会議員の立法行為は、国賠法の適用上違法**

概要

1. 前文

国会及び政府は、最高裁大法廷判決を真摯に受け止め、特定疾病等に係る方々を差別し、生殖を不能にする手術を強制してきたことに關し、**日本国憲法に違反する立法行為を行い及びこれを執行するとともに、優生上の見地からの誤った目的に係る施策を推進してきたことについて、深刻にその責任を認め心から深く謝罪する**。また、これらの方々が特定疾病等を理由に人工妊娠中絶を強いられたことについても、心から深く謝罪する。

2. 補償金の支給

対象：旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた本人又は特定配偶者

（本人又は特定配偶者が死亡している場合はその遺族（配偶者、子、父母、孫等））

支給額：本人 1500万円　特定配偶者 500万円

※特定配偶者とは、本人の手術日から本法公布日の前日までに婚姻（事実婚含む）していた方等

3. 優生手術等一時金の支給

※現行の一時金支給法の内容を本法に規定する

対象：旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた本人で生存している方

支給額：320万円

4. 人工妊娠中絶一時金の支給

対象：旧優生保護法に基づく人工妊娠中絶等を受けた本人で生存している方

※旧優生保護法規定の優生上の要件（遺伝性疾患、精神病等）に該当する者やこれと同様の事情にある者として内閣府令で定める者が対象

支給額：200万円 ※人工妊娠中絶の回数や子どもの有無にかかわらず一律に支給する

※3の優生手術等一時金を受給した場合には支給しない

5. 請求期限

2～4のいずれも施行日から起算して5年（期限に関する検討条項あり）

6. 請求手続

請求により、認定審査会の審査を経て、内閣総理大臣が認定

7. 調査検証等

国は、旧優生保護法に基づく優生手術等及び旧優生保護法に基づく人工妊娠中絶に関する調査を行うとともに、これらが行われた原因及び再発防止措置の検証等を行う

施行日：公布日から3月を経過した日

障害者権利条約批准で魂を込める取り組み そして、地域移行、インクルーシブ教育実現に向けて

脱施設、インクルーシブ教育が喫緊の課題で、重要な局面を迎えています。ともすると、権利条約は国連から提起されたことと、遠く離れた世界のこととらえがちですが、条約を実効あるものにするために当事者がどう闘ってきたのか、その願いは何なのか、そして、今、脱施設、インクルーシブ教育を実現するために何が必要なのか、DPI日本会議副議長でかつちゅうぶ代表理事の尾上浩二に話を聞きました。

(文責:堀)

拙速な権利条約の批准は阻止

日本障害者フォーラムの結成
日本の主な13の障害者団体で日本障害者フォーラム(JDF)を結成し、2002年以降、国連の特別委員会へ毎回傍聴団を派遣しました。日本では、1990年代から、アメリカ障害者法(ADA)のような差別禁止法がほしい、分離教育はダメだと言ってきました。そして、傍聴を通じて国際的な水準にふれ、気持ちが一層高まり、国内法の整備に向けて、精力的に議員との勉強会や政府と意見交換を進めてきました。

幻の権利条約批准になったかも騒動
障害者基本法は批准にあたって障害の社会モデルを入れるなど、結果的には様々な改正が行われました。しかし、2009年時点では、「障害者施策推進協議会が意見具申できる」という表面的なモニタリングに関する改正文言を入れることで、権利条約の批准に強引に政府が走ろうとした騒動がありました。

内実を求めて3つの主張
私たち運動側は3つのことを政府に主張してきました。1つ目は障害者差別を禁止する包括的な法律、2つ目は分離教育からの転換、3つ目は権利条約の実行に関するモニタリングの仕組みです。

中身なし、当事者にも相談なしに批准！？



障害者権利条約批准までの道程

- 障害者権利条約採択後は、日本における条約の批准とそのための法制度改定が焦点に
- 政府との意見交換会
- 2009年「幻の権利条約批准」騒動
 - 障害者基本法の一部改正で批准しようとした
 - 与党の障害者政策責任者の尽力により何とか阻止
- 2010年 障害者制度改革推進会議発足
- 障害者基本法改正、障害者差別解消法などを経て、2014年1月に条約批准

ある時、公明党の障害福祉委員会の委員長(当時高木美智代議員)のヒアリングを受けていたのですが、「先週、外務省が来て、条約批准の手続きに今国会で入りたい、来週、閣議決定したい」と言ってきたけど、尾上さん聞いていないですか？」と言われました。

「えっ！？ 何も話はないですよ」と答えると、高木議員は血相を変えて、同時に開催中の党内の外交部会の会議に乗り込んで、「障害者団体に説明もなく了解を得てないので党として了解できない」とストップさせてくれました。

高木議員は身内に障害者がおられてライフワークとして障害者政策をやると決意を持っておられる方で、まさに身体をはって、中身のない権利条約の批准を止めてくださいました。

すぐにJDFも呼応して、「拙速な権利条約批准は反対」と記者会見を開催しました。火曜日に公明党の党内でストップをかけ、木曜日にJDF記者会見。金曜日に閣議決定をされれば終わりでしたから、本当に危機一髪でした。

勉強会を通じて作った議員との信頼関係

公明党では、当時、障害者基本法の勉強会を毎週やっておられて、テーマに応じて、各省庁からのヒアリングも行い、JDFからオブザーバーとし説明をさせていただく立場で、一緒に議論に参加してきました。当時の藤井克徳さん、森祐司さん、尾上の三人とは公明党の勉強会のみなさんとは信頼関係があり、その当事者が知らないような動きはおかしいと決然と止めてくれました。

重度訪問介護の対象範囲の拡大

障害者制度改革推進会議での議論

2009年9月に民主党政権になりました。そして2010年1月に障害者制度改革推進会議が発足し、6月に第1次意見をまとめました。

内閣府の障害者制度改革の担当室長に車いすの弁護士の東俊裕弁護士が着任し、推進会議の主導役を務めました。また、委員24名中14名が障害当事者で、国レベルで初めて当事者が過半数の会議体ができました。ピープルファーストや全国「精神病」者集団の方など知的、精神の当事者が入ったのも画期的でした。

制度改革で制定された3つの法律と 障害者権利条約批准

- 2010年6月 **推進会議第一次意見**
- 2011年 改正障害者基本法
- 2012年 障害者総合支援法
- 2013年 障害者差別解消法
- 2014年 **障害者権利条約批准**(1/20)、発効(2/19)
※**障害者基本法改正、障害者総合支援法、障害者差別解消法**成立を経て**障害者権利条約批准**に

→★実際は総合支援法も差別解消法もすんなり実現したわけではない

2年間で38回の会議を行いましたので、月に2回のペースです。だいたい1週間に書類が届き、意見を2~3日で提出しないといけないというスピードだったので、あの当時、委員はみんな3~4時間睡眠で必死に勉強しながら食ら

いついていました。

発足してわずか半年で第1次意見書をまとめ、権利条約を批准するには、障害者基本法の改正、総合福祉法の創設、障害者の差別を禁止する法律の制定がマストだというロードマップを示したのです。

総合支援法の創設に向けて

制度改組推進会議下の総合福祉部会で、部会長は佐藤久夫(日本社会福祉事業大学教授)さん、副部会長は茨木尚子(明治学院大学教授)さんと尾上で総合福祉法の議論をしました。

2011年8月に骨格提言をまとめ、これを受けて、厚生労働省が基本理念と対応方針をまとめたわけですが、ケアホーム制度とグループホーム制度を一本化するという程度しか内容がない方針でした。

2012年総合支援法と重度訪問拡大

- 総合福祉部会・骨格提言(2011年8月)
- 厚労省は基本理念の新設やグループホームの一元化程度の**対応方針**(2012年2月)
- DPIとしては、「重度訪問の対象拡大を何としても実現する」という立場で臨む
 - パーソナル・アシスタンス・サービス実現の立場から
 - 知的障害者・精神障害者の**地域での自立生活・地域移行**を進めていくために、
 - 重度訪問の対象を、(肢体不自由のみから)知的障害者、精神障害者へ拡大

一方、DPIが、当時、念頭においていたのは、①パーソナルアシスタンスサービス(自分で介助者を選び、介助生活を自由にかつ主体的に作ることができる**直接雇用制度**)の実現、②知的・精神障害者の**地域移行**、③重度訪問介護の対象範囲の拡大でした。

DPIとしては、脱施設、地域移行を進めるには、重度訪問介護を肢体不自由の制度に留まらせずに、知的障害者や精神障害者に広げていくことが優先順位の第1だという認識でした。

重度訪問介護の拡大に大きなブレーキが！

ところが、突然に、「重度訪問介護の対象を知

的・精神に広げると、行動援護という移動支援サービスと被るので、行動援護の推進してきたひとたち人達の協力が得られなくなり与野党協議ができなくなる」と言う情報が舞い込みました。

とうじ みんしゅとうじせいけん よとう
当時は、民主党政権でしたが、与党である
みんしゅとう さんぎいんせんきょ はいほく やとう じみんとう
民主党が参議院選挙で敗北し、野党(自民党・
こうめいとう ゆうせい こっかい
公明党)が優勢をとったいわゆるねじれ国会で
ほうあん とお じみんとう きょうりょく
した。法案を通すためには、自民党の協力が
ふかけつ 不可欠だったのです。

こうろうしゅうう みんしゅとう しうがいしゃ
厚労省は、民主党の障害者プロジェクトの
せきにんしゃ じゅうどうもんかいご たいしうはんい かくだい
責任者に、重度訪問介護の対象範囲の拡大をす
じみんとう きょうりょく き ると、自民党の協力を得られなくなるかもしれない
ないというプレッシャーをかけていた、というわ
けです。

おのうえ みんしゅとう せきにんしや いぜん こんい
尾上は、民主党の責任者には、以前から懇意で、
まいしゅう あ もう わけ
毎週のように会っていたので、申し訳なさそう
こうせいろうどうしやう い はなし おし
に、厚生労働省から言われた話を教えてくれま
した。

おのうえ おも こうどうえんご
尾上は、ほんとうかなって思って、行動援護の
すいしん ひとたち き おも
推進をしている人達に聞こうと思いました。ちょ
うど、アメニティフォーラムの地域生活支援ネット
トのメンバーで良く知っている方々でした。

すぐに電話連絡すると、地域支援ネットワークで中心的な方々は、「そんな話はしていない」ということになって、そして、一緒に、行動援護の推進を一番中心になってやっておられる自民党の方にも連絡をとっていただき、最初は「なんの話だ」という感じでしたが、わざわざ出向いてくださり、「知的障害の方、みなさんが喜んでいただけるのであれば、ぜひ、対象拡大をやってもらったらいいと思いますよ」と言つていただきました。そこから民主党の責任者の方に連絡をし、かれで彼にも出向いていただき納得いただきました。

ほんとう みんしゅとう じみんとう
本当に、民主党、自民党のみなさまに、すぐに
か ば ねっしん はなし
駆けつけていただき、その場で熱心にお話をいた
かげ いつき じゅうどうほうもんかいご たいじょう
だいたお陰で、一気に、重度訪問介護の対象

はんい ちてき せいしん ひろ そうごうしえんほうそうせつ すす
範囲を知的・精神に広げた総合支援法創設を進
めることができたわけです。

あり得た？！

障害者差別解消法無し の権利条約批准

- 2012年9月に障害者政策委員会・差別禁止部会の意見書
→障害者差別禁止法の策定・国会上程は?
 - 衝撃の記者会見(2013年1月)
自民党幹事長が質問に答えて、
「現行の状態(=基本法改正だけで差別禁止の法律なし)で、障害者権利条約の批准は可能」との見解
 - 「7、8割もうダメか?」と思った
→最後ののぞみをかけて、「やれることは全てやる」

すんでのところで、ダメになるところを逆転で
きました。本当にハラハラしましたが、熱い思い
で応えていただきました。尾上はその生き証人
のやうなものです。

じゅうほうかくだい ちいきいこう みち ひら 重訪拡大は、地域移行の道を拓く

津久井やまゆり園事件で、優生思想の克服、
地域移行を進めようとするDPIに親御さんが怒りをぶつけたことがありました。「どこも預かつてくれなくて、やっと入れたやまゆり園。その生活をあなたたちは奪おうとするのか」と。
でも、その家族会の方が、知的障害者の地域での生活を描いた「道草」という映画を見て、「こういう重度訪問介護が使えることを知らされてこなかった。知っていたら、施設に入れないですね」だつて発言されたんです。

おのうえ かんそう き なみだ
尾上は、その感想を聞いて、ほんとうに涙が
で うれ たいじょうはんい かくだい がんば
出るほど嬉しくて、対象範囲の拡大を頑張って
よ おも 良かつたって思いました。

さべつかいしようほう そうせつ 差別解消法の創設

さべつかいしようほう けんりじょうやくひじゅん きき 差別解消法の権利条約批准の危機

左別解消法^{よじの}の権利^{けんり}条^{じょう}款^{かん}批准^{しんしん}の危機^{きき}
せいどかいかくすいかいきぎ もとさべつきんしぶかい
制度改革^{かくせい}推^{すい}会^{かい}議^ぎの下差別^{さべつかい}禁止^{きしん}部^ぶ会^{かい}がで^きて、
その後^ご、2012^{ねん}年に障害者^{しょうがいしゃ}政策委員会^{せいさくいいんかい}に移行^{いこう}し
たあと^{あと}からさべつかいしようほう けんとう すす
た後も^{ねん}差別解消法^{さべつきょうしょ}の検討^{けんとう}が進められ、2012^{ねん}年^{うと}
9月^{がつ}には意見書^{いいけんしょ}をまとめ、国会上程^{こっかいじょうてい}の動きを待^ま
つ状態^{じょうたい}になりました。

ところが、2012年12月の解散総選挙で安倍政権になり、翌2013年の1月に当時の自民党石破幹事長が衝撃の記者会見を行いました。

「我が党としては現行の状態（差別解消法がなくとも）で障害者権利条約の批准は可能と言う判断」と、記者の質問に答えたのでした。

それを聞いた気持ちは、もう9割ぐらいダメかなと思いました。

やれることはなんでもやる！！

もう最後に、やれることは何でもやろうという気持ちでした。

記者会見からすぐ2月には毎日のように崔君と尾上国会議員会館に通って、与野党議員に集中的にロビー活動をしました。

障害者問題の場合、○○党がいいとか、○党なら、どの議員でも話が通じるとか、そういう状況にはなくて、各党に障害者問題なら○○議員と一目をおかれている中心的な方がいるのが現状で、そういう方々を通じてお話を聞いていただきました。

党派ではなく、人によるというのが実情です。

アメニティフォーラムで道筋がついた
与野党合意、国会会議院上程へ大きな動きを作ったのが、2月に滋賀で行われるアメニティフォーラムでした。アメニティフォーラムは、障害者の地域生活を推進していくための全国的なネットワークを作ることを目的に開催されるもので、障害者や関係者が1500人も集まります。

その年のフォーラムは差別解消法をテーマに据えてもらって、国会議員セッションを設定しました。

セッションでは、公明党、民主党の方々、そして、尾上や育成会、有識者として北野誠一（東洋大学教授）さんで、「やっぱり条約を批准するなど差別解消が必要だ」という話が盛り上がってきました。

そして、自民党の障害者問題を中心的に進めてこられた議員も、「差別解消法を作ろう」という話になりました。やりましょう！ やると言つたらやるんです！！」と1000人以上の前で宣言してくださいました。

奇跡的な国会会議院上程スケジュール

これが本当に大きかったです。会場に来ていた内閣府の担当者がただちに帰京し、三党合意になったことがすぐさま伝達されました。

しかし、タイミング的には、6月の会期末まで通過するか困難な情勢でした。

法案作成は通常では半年はかかりますし、内閣法制局の審査、与野党の正式協議も必要です。3月中旬に法案作成、自民党ヒアリング、4月に公明党、民主党、4月17日に国会会議院上程で、これ自体が奇跡的なスケジュールでした。

そして、5月29日に衆議院を通りましたが、参議院審議が間に合うか不透明でした。

国会会議院上程ギリギリに成立した 障害者差別解消法

- 2013年2月アメニティ・フォーラムの国会議員セッションでの「三党合意」
- 内閣府は法案作成へ（2013年2～4月）
- 自民党、公明党、民主党による障害者団体ヒアリング→2013年4月に国会会議院上程（会期末まで2ヶ月！）
- 2013年5月衆議院・全会一致で通過
- 6月の会期末まで成立するか不透明な状況
- TDF（東京フォーラム）主催の国会請願デモ
- 6月19日障害者差別解消法 参議院可決・成立

TDF（東京フォーラム）の請願で動いた！！

最後の一押しは、TDFの国会請願デモでした。500人が訴えた力は大きかったです。これがなければ流れていったかもしれません。

そして、衆議院で請願を受けて衆参の議員さん達が連係をとって頑張ってくださいました。

6月19日参議院通過、あと1週間遅かったら、なが

流れたというタイミングでした。

人生をかけた闘いがあつて実現した
このエールの交換をしている写真の右側に写
っているのが三澤了さんです。この時には末期
のがんで、3か月後に亡くなりました。人生をか
けて闘ってきて、成立を見届けるかのようにし
て亡くなりました。

差別解消法成立を祝しエール交換！



今日の話は、尾上の手柄話のように聞こえる
かも分かりませんが、そうではありません。
権利条約の批准や、重度訪問介護の対象範囲
の拡大、差別解消法の創設など、一般的には、
政府が予定調和的に制定したと語られることが
多いですが、実際は、当事者や関係者の熱い闘
い、人生をかけた闘いがあつたから、今の制度
があるということをぜひ、若い人に知ってほしい
と思いました。

脱施設 インクルーシブ教育への転換

相模原事件 優生思想は変わらないのか
障害者は不幸しか作らないという相模原事件の
優生思想、障害者の殺傷、そして、それを称賛する
声が巻き起こったことに打ちのめされました。
社会の根底のドロドロしたものを感じて、障害者
運動で社会を変えるって言っても、変わらないの
でないかと突き付けられたショックがありました。
そこから改めて強く思ったのは、分離や隔離を
変えずして、社会は変わらないということです。

本丸は脱施設、インクルーシブ教育
国連の総括所見の審査の過程で、何が緊急テ
ーマなのかが話題になりました。
結果は、ご存じの通り、精神科病院も含む
脱施設とインクルーシブ教育が緊急テーマとして
取り組むことを強く要請されることになりました。

総括所見に至るまで、パラレルレポートの取りま
とめの経過でずっと一緒に運動をやってきた信頼
関係がJDFにはありました。

そして、支援費の上限問題や自立支援法阻止の
本当に苦しい闘いで立場の違いを超えて共にや
ってきた絆があったと感じています。

来年の施設あり方検討会が大事
総括所見が出て、2年余り、地域移行では、地域
生活支援拠点に地域移行コーディネーターの
加算の仕組みができたぐらいで、じわじわしか進
んでいません。

しかし、やっと、来年度、施設の在り方検討会が
できて、それに向けて今調査研究をやろうとして
います。これがとても大事な動きです。

実は、これも厚労省が自主的に考えてくれたの
でなく、運動側とのせめぎ合いで生まれた流れな
のです。

去年の9月ぐらいですが、報酬改定議論について、
施設優遇が目に余る、地域移行が進まない、
総括所見を受けているのに問題だ」といった状況
になり、運動側としても緊急に大挙して厚労省へ
プレッシャーをかける行動を11月にしようと検討し
ました。

しかし、厚労省と協議を重ね、施設の在り方検討、
そこに至る調査研究を必ずやるという確約を得
ることができました。

こうした中で、運動側もDPIとJIL、ピープルフ
アースの共同勉強会の実施、脱施設の公開
学習会の実施など、あり方検討会の流れに呼応し
た展開を予定しています。

来年度が勝負です。障害者が地域で自立する地域移行をテーマとした映画「大空へはばたこう～自立への挑戦～」の上映運動を各地で実施し機運を盛り上げたいです。



障害者基本法改正に条約を反映させたい
前回の障害者基本法の改正は条約批准のための限定的なものでした。今度は、総括所見の内容を踏まえたものにしないといけません。

例えば、条約との関係の明確化（第5条国際協調）、目的や原則にも条約の文言を入れるとか、最高裁判決が示した優生保護法問題で自指されている優生思想、障害者差別の根絶とかを盛り込むとか、障害者差別の定義の見直し、複合的差別を入れる、地域での生活やインクルーシブ教育も可能な限り目指すのではなく、それが当たり前といふ書き方にさせたい。そして、障害者政策委員会を監視機関としてきちんと位置付ける。

など、論点はたくさんあります。

基本法改正をジャンプ台に各法改正を！

各法の課題はたくさんあります。
基本法でしっかりと高いジャンプ台を作つて、学校教育法や総合支援法など、各法の改正に持ち込む必要があります。

また、地域生活の基盤づくりが大事ですが、介助の制度だけでなく、地域移行のための住宅、居住支援が重要です。日本の場合、厚生労働省が持っている居住施策はグループホームしかなく、国交省がもっているので、なかなか連動できない

課題があります。諸外国は、社会保障省が住宅施策もやっています。

次の障害者権利条約の審査の時期から逆算すると、障害者基本法の改正は来年度くらいがタイムリミットだと思っています。また、長年、障害者政策のとりまとめの中心を担つてこられた国会議員の方々が来年7月の任期で引退されます。色々な面から考えて、今が正念場です。

障害者基本法改正で解決したい10のテーマ

1. 優生思想を許さない、差別のない社会！
2. 地域生活の基盤整備！
3. 地域移行のための居住支援！
4. 住宅や小規模店舗のバリアフリーの推進！
5. 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育！
6. 共に働く雇用の場！
7. 複合差別の解消！
8. 障害者文化芸術のさらなる推進！
9. 内閣府障害者政策委員会の機能強化！
10. 障害当事者参画による施策の策定！

一緒にになってあらゆる取っ手に手をかける
今は、すっきりとした展開が見通せず、苦しい状況にあります

でも、大阪には世界に誇れる南桜塚小学校のようなフルインクルーシブ教育のモデルがあります。地域移行も、大阪だったら、こんな実践がある、こういう仕組みをつくる、そういう大阪モデルをどんどん作つて、それを全国に広げる、あるいは、地域移行の法律や制度議論に影響を与えるような取り組みをやってほしいと思います。

かつて、福祉のまちづくり条例は国の法律前に大阪で作らせました。そういう地方の動きの広がりが、交通バリアフリー法ができる原動力になりました。

今こそ、中央と地方、一緒にになってがんばらなアカンとき、中央とともに、地方の取り組みがとても大事なんだと、最後に強調させていただきます。一緒にがんばりましょう。

むじんかいさつ けんしょ じっし メトロ無人改札のインターホン検証を実施

昨年から問題になっている大阪メトロの改札無人化ですが、駅員がいない代わりに設置されるのがインターホンです。しかし、障害者にとっては使いにくく、改善の余地がたくさんあります。そこで、10月16日障害当事者の視点でチェックしようと、谷町九丁目駅の東改札（近鉄上本町駅側）で、実際のインターホンを使って検証会が行われました。車いす、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、知的障害と多様な障害者が、色々な団体から集まり、メトロのインターホン機器担当者も参加しました。

いろんな意見が出ましたが、一番大きな要望としては、「モニター画面」の設置。特に聴覚障害者にとっては必須ですが、知的障害者など他の障害者にとってもモニターで直接担当者とコミュニケーションできることで分かりやすく、安心できるという声が大きかったようです。今後もこうした検証会を継続すること、機器の改良の前に障害者団体との意見交換会が持たれることを望みます。

（文責：石田）

●検証会で出された主な意見

① 無人改札であると容易に知ることができるか

- ・わからない。改札ボックスはスモークフィルムが貼ってあって内部が見えない（肢体不自由）
- ・わからない。無人駅だという音声アナウンスがない（視覚障害）
- ・わからない。ピクトグラム等、文字以外の表記が必要（知的障害）

② インターホンが連絡方法であると容易に知ることができるか

- ・音声案内で、インターホンがあるということはわかる。（視覚障害）
- ・音声だけの連絡方法で聴覚障害者はどうやってコミュニケーションを取ればいいのか。（聴覚障害）
- ・わからない。ピクトグラムなど文字以外の表記が必要（知的障害）



←検証したインターホン（新型）設置状況
(音声アナウンスの長さは20秒、30秒間隔で音が出る)

③ インターホンに容易にたどり着くことができるか

- ・点字ブロックが誘導されていない。音声案内だけを頼りに向かうのは人の流れを逆行、交差することもあり危険。点字ブロックの運動があるのが一番良いが、せめて、インターホン前に警告ブロックの敷設は必要。
- 今も、音声があるのでインターホン近くまで行けるが、ボタンを探すのが難しい。（視覚障害）

・券売機にあるような「蹴込み」がないので、障害状況によれば手が届かずボタンが押せない。車いすで近づいても、インターホンまで手が届かない。(車いす)

・カードをかざすと係員が来る、ということがもっと簡単に伝わる工夫が必要。インターホン利用方法(手順)については、イラスト等を交えた説明があればわかりやすくなるのではないか。事前学習の機会がほしい。関西の大手鉄道会社で遠隔システムの共通化を図れば、いいのではないか。(知的障害)

でんどうくるま　りょうしゃ　て　とど　ため
インターほんに電動車いす利用者が手が届くか試してみた

て　とど　て　手が届かない！！



あたら 新しいインターほんで改良した箇所(メトロからの説明)

【第一期】



【第二期】



・車いす利用者にも対応できる
ように、前面にカメラを設置

・車いす利用者にも押しやすいよ
うに、呼び出しボタンを増設

・点字シールを増設

・ポスター、カードにコミュニケー
ションが取りにくいお客様にも対
応できることを記載

11月10日より 近鉄 無人化拡大の計画 (南大阪線、大阪線、奈良線で) 一方的な実施を許さない!

30分前までに届け出という不当な条件付け

自立生活センターナビの堀です。

10月24日通勤で近鉄を利用したときに、突然、「介護を必要とする場合には30分前までに届け出するように変わります」とチラシを渡されました。

ちゅうぶ(ナビ)の最寄りの南大阪線今川駅の近郊では、阿倍野橋駅から、河堀口駅、北田辺駅、針中野駅などは、9:30より早い時間、17:30より遅い時間には、駅員がいない無人体制になっています。介助などが発生すると、今川駅や矢田駅の駅員が支援を行っていますが、今回の改悪で、今川駅や矢田駅の駅員体制が減らされ、一人体制にするという説明がありました。

つまり、駅員を少なくすることで、電車に乗る時に、いつも駅員がいるとは限らないので、30分前に届け出をしてほしいということです

大阪線も無人時間の拡大 ばあとなあとも連携して、取り組みます

ナビの堀と東で国交省の差別解消窓口へ、「障害者だけにサービス利用にあたって不当な条件付けがされ、差別にあたる」と申し立てを行いました。

また、大阪市に職員の通勤・出張だけでなく、作業所の学校交流や外出の活動など、障害者の生活や活動に負担大きいことを伝えています。

大阪線の問題では、ばあとなあの最寄り駅も、新たに朝夕は無人時間帯になる予定で公表され、東大阪市で取り組みをされていますので、今後、連携して進めていきたいと思っています。

近鉄は建設的な対話を!!

人手不足の問題を障害者にしわ寄せすることを安易な対策で片づけるのではなく、障害者や利用者の負担ができるだけ少ない方法の検討など、当事者の声を聴いて共に考えてほしいと思います。例えば、近鉄の無人の時間帯は、朝の9:30より早い時間、夕方の17:30分より遅い時間の最も、通学、通勤、通所に使う時間帯です。もっと他の時間設定にできないのか。ニーズが多い時間帯だけでも、非常勤スタッフを置くことができないのか。もっと、バリアフリーを進められないのか。せめてインターホンを使いややすくできないのか、など色々な課題があると思っています。建設的な対話を求めていきます。

介助を必要とされるお客様へ

近鉄をご利用いただきありがとうございます。令和6年11月10日(日)より矢田駅では、朝および夜間時間帯において、河堀口駅、北田辺駅、針中野駅でのお客様対応で不在となる場合があります。そのため介助を必要とされるお客様(車椅子ご利用のお客様)については、あらかじめ30分前を目途に大阪阿部野橋駅にご連絡をお願いいたします。なお、ご連絡頂きましたも即座に対応できない場合もありますのでご了承下さい。

ご不便をおかけして申し訳ございませんがご理解とご協力をお願いします。

大阪阿部野橋駅 06-6621-3251

2024年11月10日から体制の変更

○駅係員の配置時間の見直しを行う駅

線区	駅名	駅係員配置時間 (変更前)	駅係員配置時間 (変更予定)
大阪線	今里	初発～最終	係員が各駅を巡回して対応します。
	俊徳道	9:00頃～18:00頃	
	久宝寺口	9:30頃～17:30頃	
	恩智	9:30頃～17:30頃	
	法善寺	12:40頃～15:00頃	
	堅下	9:30頃～12:00頃	
	安堂	9:30頃～17:30頃	
奈良線	河内永和	初発～最終	10:00頃～18:10頃※1
	若江岩田	初発～最終	9:30頃～17:30頃※1
	河内花園	初発～最終	9:30頃～17:30頃※1
	枚岡	(上り) 7:30頃～10:50頃 (下り) 6:30頃～7:30頃 10:50頃～最終	係員が各駅を巡回して対応します。
南大阪線	額田	(上り) 7:30頃～10:50頃 (下り) 6:30頃～7:30頃 10:50頃～最終	
	河堀口	9:30頃～17:30頃	係員が各駅を巡回して対応します。
	高鶴	13:30頃～17:30頃	
	土師ノ里	9:30頃～12:30頃	

見た目ではわかれにくい とても危険な歩道の段差！

京田辺市の調査 ちゅうぶジメンジャー

●調査経過

京都共同通信社記者より、簡易電動車いすユーザーが京都府京田辺市の歩道と車道の段差で転倒し頸椎損傷を受傷した事件に関連して、障大連絡会議(障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議)に歩道問題の取り組み照会があった。NPO法人ちゅうぶ、京都府の障害者団体J C I L(日本自立生活センター)、共同通信社記者と合同で事故現場を現場調査することになった。

歩道自体、高さ約20cmあり、大阪市(15~17cm程度)と比べても高い。

・横断歩道は、歩道側に近づくにつれて下向きの傾斜(6%)となっており、歩道の端部から傾斜(12%)で上がる「V」の字構造となっている。

・歩道の端部の縁石は標準2cmと定められているにも関わらず、3cmの段差があり、手動車いす、簡易電動車いすが自力で上がることが困難な段差である。

・段差が3cmですぐに傾斜を上がるために、車いすのフットレストがひつかかる可能性が高くなる。(写真はフットレスト4cm高の車いす。道路に接触して進めない)



●現地の状況

・JR松井山手駅から徒歩5分程度の新しい街並みの風景。駅周辺に商業施設が多くある。

・かなり自動車の交通量が多い。

・歩行者青信号は22秒しかなく、信号が変わっても、歩道に上がるのに苦労していると、容赦なくクラクションがならされる。



●走行調査結果

○手動車いすの場合…3cm以上の段差があり、傾斜もあるので、かなり苦労して、介助者にフォローしてもらった。助走をつけて、自力で前車輪上げ走行(ウィリー)ができる場合でないと、自力走行は困難である。

○簡易電動車いすの場合…転倒防止バーを出したまま(通常の状態)にしておくと、転倒防止バーが地面に引っ掛かって歩道にあがれない。段差に前車輪を乗り上げたとたんに、前車輪と転倒防止バーの両方が引っ掛かり、後車輪が空転し、前進も後退もできず、自力では一切、身動きがとれなくなった。



○簡易電動車いすの場合

(転倒防止バーを収納して実験)

転倒防止バーを収納しないと、簡易電動車いすで歩道の段差と傾斜を上ることは無理だと判断し、転倒防止バーを収納して走行を試みた。すると、3cmの段差と傾斜を上がろうとしたとたんに後ろに転倒した。

(写真は、転倒し、安全のために待機していた介助者に支えられている。)



後ろに転倒するときは、一瞬だった。
危ないので、止まろうとか、姿勢を保持しなおそうとかまったく反応することもできない不意打ちであり、一瞬だった。
介助者は、車いすを押さないで、後ろに待機していただけだった。転倒したので、支えてくれたが、介助者がいなければ、負傷することも考えられた。



○大型電動車いすの場合 …V字の形状のせいで、バウンドしたのか、前車輪が浮き上がり、とても危険な状況になつたので、介助者が支えてコントロールせざるを得なかつた。

●調査結果から言えること

- ・すべての種類の車いすにとって、利用するのに困難な歩道の縁石の形状であった。
- ・簡易電動車いすの場合、転倒防止バーが引っかかると自力脱出が困難となるため、そういう事情を知っている場合には転倒防止バーを収納して、なんとか乗り切ろうと考えるのでないかと推察できる。しかし、簡易電動車いすの場合、バッテリーを後ろに搭載している関係上、転倒防止バーがなければ、容易に後ろに転倒しやすいし、それを本人には防ぐ手段がないため、事故につながる危険性は大きい。
- ・道路の形状にまず問題があり、そもそも段差3cmがあることがおかしい。また、段差をあがった後にも上り傾斜があることが走行を困難にしており、しかも、V字形状となっているために、バウンドする、前車輪と転倒防止バーが引っかかる、フットレストが接触するなど、様々な危険性をはらむ形状となっている。
- ・歩行者通行時間(青信号22秒)であるために、電動車いすの通常スピードでもかなりハラハラする状態で、段差に遭遇すると焦りを感じる。勢いをつけて、なんとか段差を早く上がろうとすると、反動で大きく後ろに転倒する恐れがあり、危険が増大する。

●参加者の実感

【簡易電動車いすユーザー】

段差をどう超えようかと立ち止まって思案しないといけない危険な歩道でした。無理に行くと、転倒防止バーがひっかかり、前進も後退もできなくなりました。

【手動車いすユーザー】

3cm超えの段差だと前輪が縁石にひっかかって、前のめりになり転倒の危険がある。縁石をのぼり終えた後も勾配がきつく通行することが困難で、後ろに転倒する恐れがある。縁石が高い+勾配がきついという2重のバリアがある。交通量、人通り(歩行者、自転車、ベビーカー)が多い場所なので、今後も事故が多発する可能性がある。

【電動車いすユーザー】

見た目の感想は交通量が多く、また自転車や子どもの通行も多い印象で電動車いすユーザーはそれらのことに注意しながら車いす操作をする必要があり、精神的余裕は無い。また横断歩道を横断時には段差のような歩道から横断するため慎重に上り降りする必要があるが、他のメンバーが上る際、左折車が横断を待機しているとその後ろの自動車からクラクションを鳴らされ且つそれほど信号も長くないため、急がざるを得ない状況も事故の要因のように感じた。

なんばおにごっこフ

～インクルジョーンズ うしな 矢われた〇〇〇〇を探せ！～ さが



●日時 2024年(令和6年)10月5日(土)10時～16時

●参加者数(スタッフ、介護者含む)合計:281名

(225名 48チームが参加、スタッフ 56名。)

・今年は2019年以来、5年ぶりのなんばおにごっこを開催する事ができました。

参加者は281人。前回と比べ、参加者数、規模を縮小しましたが、

新しく変わったなんばや定番の観光スポットを楽しめる内容になりました。

今回、参加者がウォークラリーするルートはラウンドワン、ビックカメラ、マルイの3つのエリアポイント。

参加者は浮世小路、水掛不動、道具屋筋横丁などの観光スポットに関するミッション

クイズを解きながら観光スポットを巡りました。また、集合場所のなんば

広場、移動ルートに御堂筋線なんば駅からなんばCITY北館(南海方面)

へのスロープ、御堂筋歩行者道路など改修工事がされた場所を加え、バ

リアフリー化した場所も体感できる内容にしました。

地上と地下街の連絡エレベーター4か所 マルイE V 南海地上E V

元歌舞伎座(ホテルロイヤルクラシック)、E V ラウンドワンE Vに

暗号文字が記されている石板を貼り、参加者は失われた「〇〇〇〇」を

解きながら、なんばの

E V の場所を知ること

ができる仕掛けも作りま

した。御堂筋歩行者道

には、車いすのうろうろ

おにが歩いていてジャン

ケンに勝ちポイントを

獲得するゲームもしまし

た。





●豪華景品

参加者には、参加賞や景品で、

おにキーホルダー、たこ焼き券(たこ八)、大阪土産(いちびり庵)、豚まん(55
1蓬萊) & 練りもの & フランスパン(大寅)お好み焼き(お好み焼きの美津の)
レトルトカレー(串カツだるま)、カップラーメン(一蘭)を配ることができました。

なんばトイレマップの最新版も配布しました。このマップは千日前商店街と
協力をして作成しています。

2023年から1年間なんばにある多目的トイレを調査して、マップに落とし込
んだものです。トイレ内の写真や介護用ベッドの有無が記載されていて、なん
ばに来た時に、トイレに困らない便利なマップ
になっています。



●今年のテーマ

映画インディージョーンズとインクルーシブを
あ合わせて「インクルジョーンズ」



インクルーシブな世の中にできる 失われた4
つの石板が、なんば B F ルートに散らばって
いるという。



SDR(障大連)のインクルジョーンズ博士は、BF に詳しいDPI議長の岡前、副議長の
尾上の協力を得て、4つの石板を集めようとしているぞ。
インクル博士とBF助手ナナ となんばを巡ろう！



冒險マップにある4つ石板(キ
ーワード)と、おにエリアのお
宝を集めて、ゴールを目指
し、インクルーシブな世界にし
ていこう。

BF ルートのまちあるきがイ
ンクル社会になっていくの
だ！
(当日パンフレットより→)



●ラストイベントは港町リバーブレイスで開催

ラストイベントショーはヒーローショー形式の演劇をしました。



内容は、インクルーシブアイテム「クリスタルサンダル」の取り合いです。

- ・なんばをインクルーシブにしたいインクルジョーンズ博士
- ・助手のナナ
- ・DPI(デビルパーティーインターナショナル)の議長の岡前
(お腹が空きすぎて、心がすさみインクルーシブなんかより、たこ焼きパーティーがしたくなつた)
- ・副議長尾上浩二

クライマックスの乱闘シーンでは、空から風船が200個降ってきたり、直径2mの大玉が転がってきたりと、ハチャメチャな劇になりました。

ストーリーの最後に

インクルーシブはアイテムで実現できることではなく、みんなが街に出て社会参加することがインクルーシブをつくる方法だということを、みんなで共有し、ショーは終わりました。

●参加者アンケート 回答数 25 チームより

- ・全体企画内容:とてもよかつた 64%、よかつた 28%、ふつう 8%
- ・ウォークラリー:とてもよかつた 44%、よかつた 32%、普通 16%、あまりよくなかった 8%
- ・また参加したいか:ぜひ参加したい 76%、都合が合えば参加 24%
- ・なんば来訪頻度:
今回が初めて 24%、数年振りに来た 36%、年に数回 24%、月1回以上 12%、月に何度もくる 4%

・感想:チームで協力して参加できる
EV表示が分かりにくい
電動で入れる店がすくない
歩道が凸凹で改修してほしい
など感想ありました。



●DPI副議長尾上さんからの閉会の言葉

岡前議長の洗脳が解けた、正真正銘の DPI(Disabled Peoples' International) 障害者インターナショナル日本会議の尾上です。

今日はお疲れさまでした。

今日は久しぶりのなんばおにごっこでした。この間、コロナ禍の行動制限で外に出ることもなかなかできなかったが、ようやく再開することができました。大阪府各地はもとより、兵庫や名古屋からも参加を頂きました。

久しぶりのなんばのまちはどうだったでしょうか？新しくできたエレベーターやトイレがみつかりましたか？せっかくできたのにどこにあるか分かりにくいとか、新しいのにエレベーターのかごが狭いなど、トイレに介護ベッドがあればなど気づいたことはありませんでしたか？

障害者が街に出ることでバリアが見える化され、バリアフリーが進みます。

今日、私たちはお好み焼き、たこ焼きを食べることで、デビルパーティから解放されました。色々な食材が入っている、それぞれの食材が持ち味を出し合うことで、おいしくなっている。お好み焼き、たこ焼きは世界に誇るインクルーシブな食べ物です。

これからも街で出ていくことでバリアフリーを進めて、お好み焼き、たこ焼きが名物のこの大阪のまちを、もっともっとインクルーシブな、誰もが住みやすい街にしていきましょう。

●最後に実行委員より

2020年代に入り、なんばのBF化は進んできました。進んできたとはいえ、まだ、不十分な場所や設備もあります。実際に現地にいって、良い所も課題もわかり、BFな社会に近づくのだと実感することができました。コロナ禍があり、大勢でなんばに集まって、遊ぶことはできませんでした。

今回、200人以上で、まち歩きイベントを開催できて、ごちゃまぜになることの楽しさや意義を共感できました。

今後も、日々の地味なBF調査、行政機関や事業者との交渉、楽しいイベントのすべての取り組みがうまく循環していけば、みんなが楽しめる街になると思います。

来年度は「梅田おにごっこをやってほしい」という要望が千日前商店街からありました。どうなるかは、また報告します。

今回、参加していただきました皆さん、ご協力いただきました団体、事業者の皆さん、ありがとうございました。



こうじのうきのうしうがい がくしゅうかい かいさい 高次脳機能障害の学習会を開催しました！

9月26日に早川福祉社会館で、東住吉区地域自立支援協議会の相談部会と大阪市中南部高次脳機能障害包括ケアネットワーク（通称：大高ネ）が協同で学習会を行いました。

（学習会の概要）

第一部：講義「高次脳機能障害の特性」
講師：川端さん（大阪市更生療育センター）

こうじのうきのうしうがい
高次脳機能障害とは
じこ びょうき のう そんじょう う きおく
事故や病気により脳に損傷を受けて、記憶、
ちゅうい すいこうきのう げんご きのう ていか
注意、遂行機能、言語などの機能が低下し、
にんちめん かんじょう こうどう しょう しうがい
認知面や感情 や行動などに生じる障害を
こうじのうきのうしうがい よ こうじのうきのう
「高次脳機能障害」と呼びます。高次脳機能
しようがい にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ おく
障害とは日常生活や社会生活を送るうえで
いろいろ こんなん のう しうがい
色々な困難をもたらします。また、脳の障害
じたい め み しゅうい
自体は目に見えるものではないため周囲に
りかい こんなん
理解されにくいという困難もあります。もとも
げんいん たい ちりょう
との原因に対する治療やリハビリテーション
う びょういん たいいん すべ
を受けて、それらの病院を退院したら全て
もどどお せいかつ もど
元通りの生活に戻るわけではなく
ひと よ そ しえん ひつよう ばあい
その人に寄り添った支援が必要となる場合が
おお 多いのです。



こうじのうきのうしうがい おも しうじょう いちれい 高次脳機能障害の主な症状の一例

- ① **記憶障害**
わす きおく しうがい
忘れやすい、思い出せない、覚えられないなど
- ② **注意障害**
ちゅうい しうがい
集中できない、落ち着かないなど
- ③ **遂行機能障害**
すいこうきのうしうがい
片付けられない、優先順位がつけられないなど
- ④ **社会的行動障害**
しゃかいてきこうどうしうがい
我慢できず浪費してしまうなど

大阪市中南部高次脳機能障害包括ケアネットワーク（通称：大高ネ）とは？

おおさかしちゅうなんぶこうじのうきのうしうがいほうかつ
大阪市の中南部圏域（阿倍野区、天王寺区、住吉区、東住吉区、住之江区、浪速区、西成区）における高次脳機能障害のある方の地域包括ケアを実現すべく、（通称：大高ネ）を設立する運びとなりました。圏域における地域の施設や事業所の皆様とともに顔の見えるシームレスな関係性を構築したいと考えています。地域の中で生活されている高次脳機能障害のある方、ご家族の方々とつながり、高次脳機能障害を包括的に支援できるネットワークつくりを目指しています。

第2部：当事者の地域生活とライフスタイルの変化

報告者：小八重（東住吉区障がい者基幹相談支援センター）

西山さん、木下さん（自立生活夢宙センター）

小八重からは過去に担当したケースについての報告があり、戸惑いながら取り組んだ様子を伝えてくれました。改めて話を聞いて、小八重にとって、障害の特性や課題と向き合える良い機会になったと思いました。ご本人をとりまく状況や障害の程度に関わらず、望まれる生活をどのようなものか、活用できる社会資源は何か、考え続ける姿勢は必要だと感じました。



左から報告者的小八重、木下さん、西山さん
前半に講義をしていただいた川端さん

自立生活夢宙センターの西山さんから木下さんの支援に関わる経過やひとり暮らしするまでに行ったプログラムについて説明していただきました。

木下さんからはひとり暮らしをしてからの悩みとして、「ヘルパーとの関係をどう築くかの葛藤や悩み」、「今の生活の楽しみ」などをお話しいただきました。

参加者からは、木下さんが生活の中でどのような支給決定を受けて生活しているのか、介護体制などについて質問があり、計画相談をされている西山さんから説明がありました。

今回は高次脳機能障害の特性を講義で学び、その後にそれぞれからの地域生活の実践報告という形で行ったため、それぞれの時間が短くなってしまいました。申し訳ありませんでした。

しかし皆さまからの感想を読むと参加して良かったという声をたくさんいただき嬉しい限りです。困りごとがあれば東住吉障がい者基幹相談センターにお電話いただければと思います。参加していただいた皆さん、大高ねの皆さんありがとうございました。

（文責 小坪）

かんさい アクセス関西ネットワーク集会報告

10月10日(木)京都市醍醐交流会館でアクセス関西ネットワーク集会を開催しました。5年ぶりの対面開催となりました。(zoom併用)集会冒頭、9月26日にお亡くなりになりました、牧口一二さんを偲んで黙とうをしました。牧口さんは、N H K 教育テレビ「きらっといきる」で10年間コメンテーターを務められ、1995年の阪神淡路大震災の際には「被災障害者支援ゆめ風基金」を立ち上げられ 29年間にわたり被災地の障害者救援活動に携われてこられました。

●アクセス関西大賞受賞式と受賞者講演

今回、アクセス関西大賞に選ばれたのは京都市営地下鉄です。京都市営地下鉄におけるバリアフリーの取り組みを京都市交通局の方より紹介していただきました。ハード面では「車両に車いす・ベビーカースペースをホームに可動式ホーム柵を設置(現在の移動円滑化基準は満たしている。)。」ソフト面では「障害当事者が講師として参加する研修を行っている。」今後の展開としては「地下鉄烏丸線へのホーム柵全駅設置についても早期に実現していきたい。」というお話をしました。2025年は大阪関西万博も開催されるので、京都にもたくさんの国内外から障害当事者が観光目的で来られると思います。その際に「ホーム柵が設置されていて便利だった。」「駅員さんの対応が良かった。」など京都市営地下鉄を利用して良かった。と感じてもらえた嬉しいです。



京都市営地下鉄東西線のスクリーン式ホーム柵
ホーム柵は設置されていますが、ホームと車両の段差隙間が解消されていないのが残念！

きねんこうえん
●記念講演

えぬびーおーほうじん かぜき きん ながむらじっこ あ べ しゆんすけ しょうがいしゃ さいがい だい こうえん
NPO法人ゆめ風基金の永村貴子さんと阿部俊介さんに「障害者と災害」と題して講演していただきました。後半の記念講演では、まず阿部さんに 2011年3月に発生した東日本大震災の経験をお話していただきました。「まだまだ復興復旧は進んでいない。」「東日本大震災の時の教訓があるにもかかわらず、ほとんど改善がされていない。」「障害者の現状は、厳しい状況にある」ということをお聞きし、日頃から誰もが住みやすい社会に変えていく必要がある。そのためには当事者が、いろんな人(団体)と連携しながらどんな活動をしていくべきなのか考え方行動していかないと前には進まないと感じました。永村さんのお話は 1995年に発生した阪神淡路大震災の際に、障害者救援本部を立ち上げ、さまざまな人と助け合いながら支援を続けた。という内容でした。

きょうとしこうつうきょく あ べ ながむら きちょう はなし
京都市交通局のみなさん、阿部さん、永村さん貴重なお話ありがとうございました。

●集会に参加した感想

おおさか ちかてつ はな き きかい おお こんかい きょうとしこうつうきょく と く き あらた
・いつもは大阪の地下鉄の話を聞く機会が多いですが今回、京都市交通局の取り組みを聞けて、改め
しょうがいしゃだんたい うご こうつうきかん だいじ かん しんがた かんせんしゅう
障害者団体が動いて交通機関とつながること大事だと感じました。それと新型コロナウイルス感染症の
えいきょう おお で き
影響が大きさを、そこまで出ていたことを聞けて、びっくりしました。

ひごろ さいがい お とき そな ひつよう
・日頃から災害が起こった時の備えをしておく必要が
あるということは頭ではわかっています。でも、なか
でき じたく
なか出来ない。なぜだろう、。。。まずは、自宅から
もよひなんじょ ひなんじょ
最寄りの避難所が、どこなのか、その避難所がバリア
りよう かくにん おも
フリーで利用しやすいかどうか確認してみようと思
います。
そな でき
みなさんは、備え出来ていますか？

みなさん そなでき さんは、備え出来ていますか？



◆アクセス関西ネットワークとは

オオサカ メトロック OSAKA METROCK2024

あか いまむらけいご
赤おにの今村圭言です。

じつ のうこうそく ひょういん 実は脳梗塞になり病院のベッドでぶつ倒れてたので報告が遅くなりましたが、

5月12日(日)に堺の海とのふ

れあい広場というところでやつ
てる野外の音楽フェスのメトロ
ック大阪に今年も行きました。

2年連続の雨が降ったり止ん
だりのあいにくの天気でした。

でも、今回の目的のアーティス
トのCreepy Nuts、
ノーベルライト
Novelbrightなど聴けたので良かったです。

TOKYO・OSAKA METROCK2024 METROPOLITAN ROCK FESTIVAL



きよねん ちが だんど わ とうじつ
去年とは違い、段取りが分かっていたので、当日まで
しゅさいしゃ かいじょう でんわ
に主催者に会場までのアクセスなどを電話でてきてた
のでスムーズでした。

ほうほう なんかいでんしゃ さかいえき い
アクセス方法は、南海電車で堺駅に行って、そこから
ふん ある さら の かいじょう む
10分ほど歩いて更にシャトルバスに乗って会場に向
かうのですが、車イスではシャトルバスには乗れない
しゅさいしゃ ようい かいご
ので、主催者が用意してくれている介護タクシー(ハイエース)で向かいました。



かいじょう やさ ないおう
会場ではスタッフが優しく対応してくれました。
きよねん ちが ないおう よ
去年とは違い対応が良くなってた気がします。

しばふ うご つた ほそう みち
芝生で動きにくいと伝えると、舗装された道を
あんない 案内してくれたり、付き添いの人が横並びにな
っても注意されなかつたりと、去年ダメだったこ
とができるようになっていて、今年も行って良か
ったです。

ステージは「GREEN HILL」「BAY FIELD」「SUNSHINE ARCH」「NEW BEAT SQUARE」の四つで、アーティストごと別れて演奏して、自由に移動することができます。

今回僕は、「GREEN HILL」「BAY FIELD」の二つを中心に回りました。

この二つのステージは遮るものもなく、見やすかったです。

「BAY FIELD」より、僕は「GREEN HILL」の方が好きです。

ステージとの距離が近く、より迫力があって良かったです。

今回も行って思ったことは、何度も行くことによって車いすの人でもフェスに参加することをスタッフ、アーティスト、参加者などに知ってもらえ、よくなると思いました。

来年も必ず行きます。

5.12 SUN			
BAY FIELD	GREEN HILL	NEW BEAT SQUARE	SUNSHINE ARCH
		9:00 オープニングDJ DJ Daino	
10:00 キュウソネコカミ	11:30 TOMOO	11:25 ヤコヨ	10:55 れん
11:00	12:30	12:45	12:15 Paledusk
12:00 SHISHAMO	13:00 Chilli Beans.	12:45 レトロリロン	13:35 かざき山盛り
12:45	13:25 04 Limited Sazabys	14:05 Chevon	14:55 NIKO NIKO TAN TAN
13:00	14:10 ねぐせ。	14:05	14:55
14:00 Saucy Dog	15:30 Novelbright	15:25 This is LAST	
14:45	15:30	16:45	16:15 shalim
15:00	16:00 Creepy Nuts	16:50	16:50
15:45	16:45	17:00 真天地曲田ジグザグ	Mr.ふおるて
16:00	17:00		

ベイフィールドくるまいすせき
BAY FIELD車椅子席からのステージ



木戸通雄の部屋

「木戸通雄のぶらり旅～梅田 KITTEに行く～」

2024年 令和6年 9月9日月曜日

木戸通雄のぶらり旅。作業所のミニアクセスクラブで、梅田KITTEに行った。

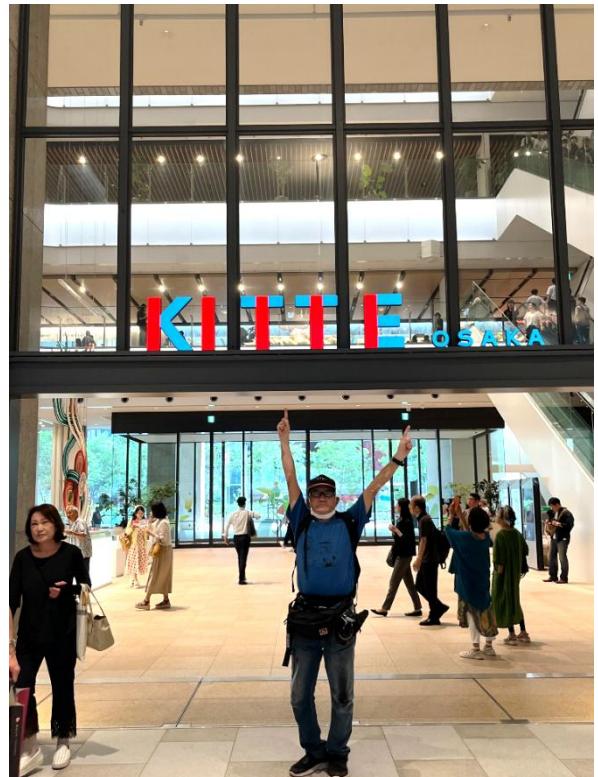
梅田KITTEというのは、てっきり切手博物館か、世界の切手展示のイベントの歴史館かと思っていたけど、チョット予想が外れだったな。ガッカリ…。

今年の日本シリーズは、もう人間持つて生まれた人間誰でもある人間の予知能力で、予想した。

パリーグは福岡ソフトバンクホークス(リーグ優勝)、そしてセリーグは広島東洋カープ(リーグ優勝)。そして広島東洋カープおよそ4年連続日本一を大予想。(2024年9月時点) …と大予想をかましていました。

2024年10月21日(月)、なんと予想外に、横浜ベイスターズがクライマックスシリーズ最終戦で、下克上3位から首位巨人に、ベイスターズの牧の意地のバットが9回表勝ち越しの一打3対2で逆転。三浦監督(50)就任4年目で、2017年以来7年ぶりに日本シリーズ進出を決めた。

敵地東京ドームで横浜ベイスターズナインクライマックスシリーズ優勝おめでとう。



僕は、大の福岡ソフトバンクホークスファンだ。

ダイエー長吉店で警備員をしていたが、当時、大阪近鉄バッファローズファンだったため、福岡ダイエーホークスのファンクラブには入らなかった。ダイエーホークスのファンクラブに入ると、給料から引かれるのが嫌だった。

日本シリーズ前、福岡の街はもう酒盛りだろうか？僕は、作業所で外出中なので、酒が一切飲めない。しかたなく、生ビールの、かわゆいポスターのモデルさんに乾杯。

本当は福岡ソフトバンクホークスよりも嫁さんが欲しいんだよなあ。

キリンビールさん、サッポロビールさん、すいません。

自分は若い時からアサヒビールのファンで、今は週に1回月曜日だけアサヒスーパードライ缶ビールを飲んでいます。



福岡ソフトバンクホークスの歌の歌詞。
あまり覚えてないけど、応援歌聞いてください。
(読んでください)

♪～はやてのごとく、さっそうと、
はやてのごとくさってゆく、
われらの、われらの、
ソフトバンクホークス、
むてきのホークス。

♪～ソレ！！いざゆーけー。いざゆーけー。
若鷹軍団。

♪～無敵の、無敵の、ソフトバンクホークス。
ソレ！！

チャンピョンフラッグ高らかと～♪

文章文字は決して人間の耳に聞こえませんが、ちょっと音痴で歌詞も間違え、グダグダですいません。

どうか九州出身のみなさん、福岡県出身のみなさん、熱狂な福岡ソフトバンクホークスファンのみなさん、どうもすいませんでした。ここに謝罪をしておきます。申し訳ございませんでした。



なんでもロボットの時代。
セキュリティも強化されロボットのガードマンと出会う。
巡回もロボットがしてくれるんだなあ。
監視カメラ付き。セキュリティロボットガードマンには
監視カメラも装備されていた。
(木戸通雄 61歳)

アットマーク かん おおとりたいしや
マノスタ@ミュシャ館・大鳥大社

いよいよ芸術の秋！ということで、アルフォンス・ミュシャ館（堺市）へ行ってきた報告をします！
(今回は気合を入れて、一人称で報告します m(_ _)m)

今まで色々な絵を観てきたけどトップクラスに好きな絵だった。色の使い方や優しそうな表情の絵が
俺に突き刺さった。思わず見入ってしまった。日曜だったので人多いかな？と思っていたけど
けっこう空いていて、ゆっくり見ることが出来た。



↑不思議な感覚になった。吸い込まれそう。



↑本気で見入ってる俺。時間忘れて観てた。



↑特に気に入りの作品
アルフォンス・ミュシャ作
夏：四季 1896年
思わず見とれてしまいました…。



↑大鳥大社にも行ってきました。
大きな鳥居と2ショット 高さはなんと約俺5人分！
次はもっと大きな鳥居を見に行ってみたいなあ。
となると、京都の平安神宮の大鳥居！今年中に行くぞ！

きょうりょくかいひ

きょうりょくしゃめいほ

協力会費・カンパ協力者名簿

特定非営利活動法人 さかえ会 さん (旭区)

がつ にちげんざい
10月31日現在

ご協力ありがとうございました (担当: 安東)

「トランプタワー」



あか
赤おにくん:

「今年のハロウィン、何の仮装(コスプレ)、がいい?、いま、話題になってるのがいいよね、」

あお
青おにくん:

「トランプとかどう?」

あか
赤おにくん:

「それは、ハートなの?、キングなの?、ジョーカーなの?」

あお
青おにくん:

「見る人によって違うみたいだよ、切り札だと思う人もいれば、神経衰弱すると思う人もいる、パパをひくと思う人もいる」

あか
赤おにくん:

「そのコスプレ、費否分かれる賭けだね、やめとこか。」



2024年11月～2025年1月スケジュール

11月23日	土	童夢KANSAIフェスティバル（旧ポジティブ生活文化交流祭）11時～16時 @長居公園自由広場
12月3日	火	障大連・大阪市オールラウンド交渉 10時～16時45分（予定）@天王寺区民センター
12月4日	水	障大連・大阪市オールラウンド交渉 13時～16時45分（予定）@天王寺区民センター
12月13日	金	東住吉区自立支援協議会 辻川圭乃さん
12月15日	金	障大連自立セミナー「強制不妊手術問題（仮題）」13時～17時 @たかつガーデン
12月28日		～1月4日（土）通所冬休み

●11月28日（火）ひょっとして歴史的な日。世界中が注目するアメリカ大統領選挙。前日の支持率もほぼ同じ。ハリスとトランプ。民主党と共和党。アメリカの障害者にとっても、民主主義や世界にとっても大きな選択。この通信が届く時には決着しますがどうなることやら。一あっと言う間にトランプ勝利となりました。日本にとっても大きな動きが起きそうです。この大きな話と対比しようがないですが、大阪城天守閣エレベーター工事中の階段での車いす補助事業スタート。12月14日までの40日間。世界のいろんな人の出会いが楽しみ＆うまく対応できるのかの不安。スタート初日は9時にいきなり車いす2名。午前中に8名。半分は歩行できる方。一般客は見た感じ8割超が外国人ですが、階段補助が必要な人も半数以上外国人。ヨーロッパ系、アジア系いろんな国から来られています。中には九州からの就学旅行での車いすの中学生もいました。今回の補助事業（階段担ぐ）が無かったらこの中学生だけ天守閣登れなかつたのかなと思うと、やってる意味を感じます。ヘルパー求人でも人が来ない中、毎日5人以上のスタッフを集めるのは至難の業でしたが、学生や各団体の協力でなんとか乗り切ろうと思います。お客様はほぼ外国人。中には英語ができる学生もいて、簡単な案内したり写真撮ってあげたり…最後は笑顔で「いってらっしゃい！have a nice day！」40日間、なにが起こるやら…。

（いした）

●最近、初めて1人で串カツを食べに行きました。串カツの某有名チェーン店なので個人経営のお店に比べれば敷居が低く、カウンターには隣の席と仕切りがしてあるので周囲を気にせず集中して食べられる仕様になっているのがビギナーにとっては安心できるポイントでした。1人ラーメンや1人ファミレスなら行けても1人串カツとなると自分の中では少しハードルが上がるのに内心ドキドキしていましたがビールの力で気持ち大きくなり、「1人飲みをしている…」という感慨にふけりながらエビアスパラを食べました。1人飲みとしてはかなり初歩のシチュエーションだと思いますが、現在の自分にとっては大人の階段を登った門出のような瞬間でした。これからは1人で好きなときにお店でビールが飲めると思うと、少しくらい嫌なことがあっても無敵でいられる気がします。

（さいき）

●10月5日、入社5年目にして初めてのなんばおにごっこにスタッフとして参加しました！入社1年目はコロナ全盛期。なんばおにごっここの隣の自体、5年ぶり。ドキドキしながら難波に向かいました。難波には人生で数回しか行ったことがない私。何より極度の方向音痴の私。高いビルを見上げるだけの私…。人が多いのが苦手で外に出るのも億劫で、方向音痴すぎる私は、今まで新しい場所に行くことを避けていました。さらに言うと、新しいことへの挑戦も避けてきたように思います。それが故の「自分の経験の無さ」と「逃げている自分」に改めて気づかされました。私の中のバリアをなくさなければ！エンパワメントや！と思い、これからは方向音痴だからと怖がらず、新しい場所から逃げず、なんばおにごっこのように色々な場所を歩くことから始めてみようと決意しました！私にとっては大きな決意！初めの一歩！気持ちだけでも前向きになれたらいいな～（方向音痴はなかなか直りそうにないけど…）今回のおにごっこ、規模は少し縮小されたものの、大成功に終わりました。私もなんばと仲良くなりたいなあ。（さかぐち）

【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】

【自立生活センター・ナビ】

〒546-0042 東住吉区 西今川 2-3-8

でんわ = 06 (6760) 2671

ファックス = 06 (6760) 2672



【障害者活動センター 赤おに】

〒546-0031 東住吉区 田辺 5-6-10

でんわ = 06 (6623) 7300

ファックス = 06 (6657) 5010

【グループホーム・リオ】

〒546-0032 東住吉区 東田辺

2-21-21

でんわ&ファックス

= 06 (6608) 5244

【ヘルプセンター・すてっぷ】

NPO法人ちゅうぶ 2階

でんわ = 06 (4703) 3741

ファックス = 06 (6628) 0271

【障害者活動センター 赤おに】

NPO法人ちゅうぶ 1階

でんわ = 06 (4703) 3742

ファックス = 06 (4703) 3743

編集：特定非営利活動法人
エスピーボーゼウジン

【NPO法人 ちゅうぶ】

〒546-0031

おおさかしひがしまよしくたなべ

大阪市東住吉区田辺5-5-20

でんわ=06 (4703) 3740

FAX=06 (6628) 0271



ホームページ=https://npochubu.com/

メールアドレス=chubu@npochubu.com

郵便振込口座：00960-6-313427

通信定期購読料=1年間2,000円